



図書だより 12月

令和2年11月30日
開南幼稚園 永森 加奈

環境を整えて

暖かな日が続きましたが、園庭の木々の葉もすっかり落ち、冬の息吹を感じます。子どもたちの練習する歌を聞き、冬本番も間近と感じています。

年長・年中は仮設園舎の生活もすっかり慣れ、クラスの目の前の図書室に、ふらっと来て絵本を見ていく子がたくさんいました。貸出し・返却に年少・ひよこも時々来ますが、じっくり図書室で過ごす時間も設けたいと思いました。

最近では、お遊戯会の劇でやる絵本や、おはなし会で読んだ絵本、クラスに貸し出した絵本を借りる子が多く、絵本やお話が身近にある環境が大切だと思いました。子ども自身が、おもしろそう、読みたいという気持ちを育めるように、たくさんきっかけを作っていきたいと思っています。

ながもいさんの おはなし会

10月から11月に読んだ絵本です。身近な自然から季節を感じ、興味を持てるようにと選びました。

- 「おおきな おおきな おいも」 (福音館)
- 「あたみに かきの木」 (教育画劇)
- 「どんぐりかいぎ」 (かがくのとも)
- 「おおかみだあ！」 (ポプラ社)
- 「どうぶつに ふくを きせては いけません」 (朝北社)

ちょっと嬉しいこと

私事です……つい最近のことです。

夫から“家族 LINE”で、絵本を買ったと「ぐりとぐらのおおそうじ」「バルバルさん」の写真……誰に?? 子育て真っ最中の友人宅のお土産にとのこと。親も絵本を読む余裕を持ってほしいと思ったからだとか。

家族で絵本の話をするのが少なくなった我が家ですが、夫が自分の記憶をたどり、成人した息子たちが好きだった絵本を思い出しながら絵本を選んだようです。帰宅が遅く、夫が息子たちに絵本を読んであげることはあまりなかったのですが、読んでいた絵本の記憶がちゃんと残っていたことを嬉しく思いました。その時はできなかったけれど、今になって親しんだ絵本について思いを共有できる幸せを感じたひと時でした。

12月 貸出し

| | | | | |
|----|-------------|-----------|-----------|----------------|
| 貸出 | 12/4 (金) | 11 (金) | 18 (金) | 23(水) 終業式 |
| 返却 | 7 (月) | 15 (火) | 21 (月) | 1/12(火) 始業式 |

- * 月曜に貸出しの本は、水曜までに返却してください
- * 返却を忘れると、次回貸出しはできません
- * 破損したときは、テープは貼らず、付箋などでお知らせください
- * 終業式の日に2冊貸し出します
- 3学期の始業式に忘れずに返却してください
- 保護者の方のご協力をお願いいたします



良い絵本

1967年に刊行された「いないいないばあ」(童心社)が国内で発行されている絵本で初めて発行部数700万部を超えました。児童文学作家の松谷みよ子さんが文、画家の瀬川康夫さんが絵を手がけ、日本の赤ちゃん絵本の先駆けとして、「赤ちゃんだからこそ、美しい日本語と最高の絵を」との思いから制作されました。シンプルな構成で、半世紀以上にわたって親しまれ続けています。その他、国内の発行部数の多い絵本は「ぐりとぐら」(福音館)533万部、「はらぺこあおむし」(偕成社)420万部です。どちらも、年月を経ても少しも古く感じることなく、子どもたちが大好きな絵本です。

本屋さんに行くと、迷ってしまうほどたくさんの絵本が並んでいます。話題の面白い本もいいのですが、長い間読み継がれている絵本は、文も絵も洗練されています。初版がいつか見てみるのも選定基準になりますので、20年以上読み継がれているものをぜひ選んでください。

